

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
440007	X-13-B-3-440007	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
ベンチャービジネス	藤田 美幸			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	3年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	3年

#### 授業目的

アントレプレナーシップとは「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として活用する」ことです(Drucker, 1993)。アントレプレナーとは会社を起業する人や企業組織の中で新しい組織やビジネスとネタと組織や人を結びつけて、新しいものを生み出す人のことです。こうした人々は経済発展の原動力になったことが高く評価されており、その機能について考察します。本講義では、アントレプレナーシップ(起業、創業)という現象がなぜ生じるのか、アントレプレナーシップを生じさせる構造はどうなっているのか、アントレプレナーシップと地域再生や地域活性化にはどのような関係があるのかについて検討します。起業機会の発見やアイデア創出、具体化の方法論の基礎を学びます。講義では必要な知識の伝達に加えて、ワークショップやグループワーク等を組み合わせた学生参加型の体験的な学習を重視します。

なお、この科目は「自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力を養う」ための科目のひとつになります。

#### 各回毎の授業内容

<b>第1回</b> 【授】イントロダクション-講義のガイダンス、ベンチャービジネスの講義内容- 【前・後】教科書を事前に購入し、目次と第一章を読んでおく <b>第2回</b> 【授】起業をめぐる環境要因 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習(教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第3回</b> 【授】起業家論-アントレプレナーシップ(起業家精神)に関する研究 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習(教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第4回</b> 【授】チームビルディング-アイデア創造- 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習(教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第5回</b> 【授】ビジネスプランについて-ビジネスプランの構成要素- 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習(教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第6回</b> 【授】ビジネスプランについて-マーケティング戦略-1- 【前・後】「マーケティング」講義ノートおよび前回までの講義ノートの見直し・理論の復習(「マーケティング」の教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第7回</b> 【授】ビジネスプランについて-マーケティング戦略-2- 【前・後】「マーケティング」講義ノートおよび前回までの講義ノートの見直し・理論の復習(「マーケティング」の教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第8回</b> 【授】ビジネスプランの作成1-グループ別- 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習	<b>第9回</b> 【授】ビジネスプランの作成2-グループ別- 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 <b>第10回</b> 【授】プレゼンテーションの技術-プレゼン・ソフトでの発表資料作成法 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習(教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第11回</b> 【授】中間発表 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 <b>第12回</b> 【授】ビジネスプランの作成3-グループ別- 【前・後】グループ別にビジネスプランの再考、4時間相当の事前事後学習 <b>第13回</b> 【授】ビジネスプランの作成4-グループ別- 【前・後】グループ別にビジネスプランの再考、4時間相当の事前事後学習 <b>第14回</b> 【授】最終発表 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 <b>第15回</b> 【授】最終発表について講評する ・総括-ダイジェストし、重要なポイントについて復習する- 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習(教科書を参照すること)、4時間相当の事前事後学習 <b>第16回</b>
---	--

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							30
成果発表(口頭・実技)							30
演習							
その他							

小テスト・授業内レポート20%、宿題・授業外レポート20%、授業態度・授業への参加30%、成果発表(口頭・実技)30%の配分で評価します。積極性が加味され、単に講義の時間に出てきても、プランの準備をしていないヒト、グループに貢献していないヒト、課題に対して貢献しないヒトは、授業態度・授業への参加の評価を減点します。

#### 教科書参考書

##### <教科書>

柴田 英寿『アントレプレナーシップ論講座-みんな、心に、起業家精神!』日刊工業新聞社、2013年

##### <参考書>

新藤晴臣、『アントレプレナーの戦略論』、中央経済社、2015年

松重和美監修、『アントレプレナーシップ教科書』、中央経済社、2016年

#### 受講に当たっての留意事項

- ・受講は、「マーケティング」の単位取得済みが条件です。
- ・アントレプレナーシップは“総合力”です。一つの授業にひとつのトピックを当てはめることが難しいのですが、“授業の内容”にあげるトピックを15回の授業を通じてプロジェクトや議論を通じて理解を深めていきます。
- ・授業では、知識や理論のインプット学習と、グループに分かれバーチャルでビジネスプランを作成・発表するアウトプット学習により理解を深めます。
- ・アントレプレナーのゲストスピーカーをお招き予定です。遅刻厳禁かつ私語厳禁。社会人としてマナーに反しますので5分遅刻の場合は入室はできません。また途中退出も認めません。またゲストスピーカーのスケジュールの都合により授業内容の順番が前後します。
- ・授業で指定する教科書を事前によく読んだうえで受講してください。
- ・チームでプレゼン内容を準備するため、授業時間外で発表資料作成に取り組む十分な時間が必要となります。
- ・出席管理システムにより出席を入力してください。

・レポート提出は期限厳守です。期限後の提出も認めますが減点します。

\* レポートは講義内で採点基準の答案を公表し、且つ全体の評価について講評します。

\* 成果発表は、全員で審査をおこないます。その結果を講義内で公表します。

#### 学習到達目標

#### 本講義の到達目標

1. 社会や地域のイノベーションを推進する主体としてのスタートアップ企業の重要性を理解することができる。
2. スタートアップ企業の理論や実務など理解を通じて自身がアントレプレナーになった場合に必要な知識を身につけることができる。
3. ビジネスプランを作成することができる。
4. ビジネスプランを作成し、説得力のあるプレゼンテーションができる。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：I

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習